

戦争を呼び込む政権は一気に改憲まで 国民の安全・くらしは、かえりみず

3月9日未明、熊本市「陸自健軍駐屯地」に長射程ミサイルが搬入・配備されました。市民病院や小中学校に隣接し、熊本県庁や水前寺公園からも2キロ余りとまさ

に市の中心部です。イラン情勢を踏まえ、ミサイル配備が軍事攻撃の標的にされかねないとの住民の不安の声に対し、防衛省制服組トップの統合統幕長は「住民の不安払拭より抑止力が大事」とまで発言。国民の命より軍備優先、かつての大本営と同じではないかとの怖さを感じた瞬間でした。

2月の衆院選で大勝した高市政権は「数の力」による強引な国会運営を行っています。物価高が続き、国民生活が改善されていない中で防衛費は伸び続けています。今後、防衛関連費用を捻出するための新たな税も検討されています。憲法9条の改憲を含め日本として「平和国家のあり方」は重要です。高市政権が国の重要政策を十分な審議もせず行うのではないかとの懸念がぬぐえません。

高市政権が進めようとする政策とその矛盾・「危険性」

安保関連 3文書	GDP比2%の防衛費を達成し、トランプ政権が求める3.5%を視野に。新兵器開発などさらなる質の向上と軍拡を視野に入れた3文書改定を年内に。国是の「非核三原則」は見直し。
防衛装備 移転 三原則	1976年に政府統一見解として確立した「武器輸出全面禁止」の運用指針を改定し、戦闘機や護衛艦など殺傷兵器の輸出が可能に。条件次第で紛争当事国への輸出も可能にする内容。日本が「死の商人国家」になりかねない。法改正不要のため国会は直接関与できず。
国家情報 会議設置	国家情報会議設置法案を3月13日閣議で決定、今国会で成立目指す。思想・信条や報道の自由を奪い、戦前の治安維持法まがいの市民監視強化を図るスパイ防止法策定に着手。
責任ある 積極財政	官民が連携して防衛産業や半導体など戦略分野への大型投資に乗り出す。複数年度にまたがる予算編成への転換を目指す。逆に国会による毎年度の予算チェックが形骸化する恐れが強い。財源が不透明で、先進国で最悪水準の財政状況はさらなる金利高・円安を招く危険性大。
改 憲	今国会中にも衆参憲法審査会に改憲の「条文起草委員会」設置方針。衆院憲法審査会長は、これまでの全会一致から多数決運営への変更可能性にも言及。憲法は個人の自由や権利を守り国家権力を縛るためにある。権力者の都合で強引に進めることは厳に慎むべきだ。

市民の力を結集して

改憲や原発廃止・再稼働をめぐる問題をはじめ各野党の対応はバラバラで、結束した対応ができていません。そうした中、3月19日の「総がかり行動実行委員会」主催の国会議員会館前19日行動には、何と11,000名もの市民が集まり「イラン攻撃絶対反対」「戦争できる法律いらない」などをコール。夜の集会にもかかわらず子供連れの母親や若者の参加が多く、プラカードやペンライトを手にした人の波は国立国会図書館を超え、議員会館の向い側にまで広がる、久しぶりに元気が出る大行動でした。

損保9条の会・平和の取り組み

折り鶴


- 15cm角の市販折り紙(包装紙などの利用も可)で、糸を通して千羽鶴にしやすいよう「首の部分は折らない」ようお願いいたします。5-10羽という少数でも歓迎。
- 6月末をめどに日本興亜9条の会事務局(送付した封筒裏面に記載)和田あてに送付をお願いします。
- 今年も損保の代表が広島に届けます。

長崎平和ツアー

- 11月10日夕刻~11日夕刻をコア日程として、現地集合・現地解散で実施します。前後の日程は参加者が自由に設定下さい。全国どこからでも参加可能です。
- モデルコースとして、11月10日出発の3日間コースと4日間コース(3日目に五島列島・福江島)を設定。詳細は事務局和田までお問い合わせ下さい。

5・3憲法大集会はみんなで有明防災公園へ

早めに到着し、お昼を食べながら開会(13:00)を待ちましょう

- ◆お弁当・飲み物・お菓子やレジャーシート、クッション、折りたたみ椅子などをご持参下さい。
- 会場内の通路沿いに「損保の集合場所」を確保しています。
「**損保9条の会**」のぼり（青色に白抜き文字）を目印に。
- 「有明口」と「有明口正面の通路突き当り付近」の2か所に「**損保9条の会**」のぼり（青色に白抜き文字）を立て、ご案内します。（「有明口」は下案内図の  マーク地点です）
- 会場へのご案内や「集合場所」のぼり掲示は 12:45 頃には終了します。12:30 頃までには「有明口」入口を通過して下さい。
特に開会後は会場内でのぼり掲示が制約され、目印が無くなる可能性大です。ぜひ早めのご来場をお待ちします。
- ◆終了後は、任意参加の懇親会を有楽町駅近くで企画しています。



アクセスマップ

【電車】

- ・りんかい線「国際展示場」駅から徒歩4分
- ・ゆりかもめ「有明」駅から徒歩2分

【都バス】（乗場は東京駅、門前仲町駅、豊洲駅など）

- ・門19甲系統「がん研有明病院前」バス停下車、徒歩2分
- ・東16系統「有明二丁目」バス停下車、徒歩7分

損保9条の会 秋の講演会に144名

戦後・被爆80周年にあたる昨年10月18日（土）、損保9条の会・生保9条の会合同で講演会を開催しました。会場の北とぴあには満席の144名が参加、日本興亜からも20名が参加しました。



オープニングは生保の仲間「こだま」の皆さんが朗読「ちいちゃんのかげおくり」を披露、大きな喝さいを浴びました。続いて、防衛ジャーナリストの半田滋さんが「敵基地攻撃日米一体化：防衛費倍増は国民負担に」と題して講演。安保法制強行からを振り返りながら、大軍拡と「戦争できる国」づくり・日米一体化の現状と、南西諸島はじめ全国で展開する基地強化、港湾・空港のインフラ整備などを、資料をスクリーンに投影して詳細に紹介。最

後に「軍事力強化は戦争を呼び込む。台湾有事の戦場は日本と台湾であり米国や中国ではない。国民の犠牲のうえに成り立つ国防などあり得ない。平和は軍事力ではなく命がけの外交によってはじめて実現する。」と結ばれました。

恒例の中華料理店での大交流会は、他の会の仲間に加え講師の半田滋さんにも参加いただいた結果、総勢で34名にも達し貸切り利用のお店はほぼ満席に。会の枠を超えて懇親を深める場となりました。



講演会の内容は、損保9条の会ホームページ(sompo9.org)収容のYouTubeでご覧いただけます。